

本文
40
ページ

頑張るわ」

「お母さん…どんな事でもして…」

「娘くんが元気になるためなら」

いいのよ
娘くん…

僕の母さんが
あまりにもエロすぎて…

颯^{そう}くん

今日の晩ご飯
何がいい？

この人は

僕の母さんだ

高嶺 ゆかり

専業主婦



そうだなあ

ハンバーグでいいよ
母さん

そういう僕は
引きこもりの
ニートだ

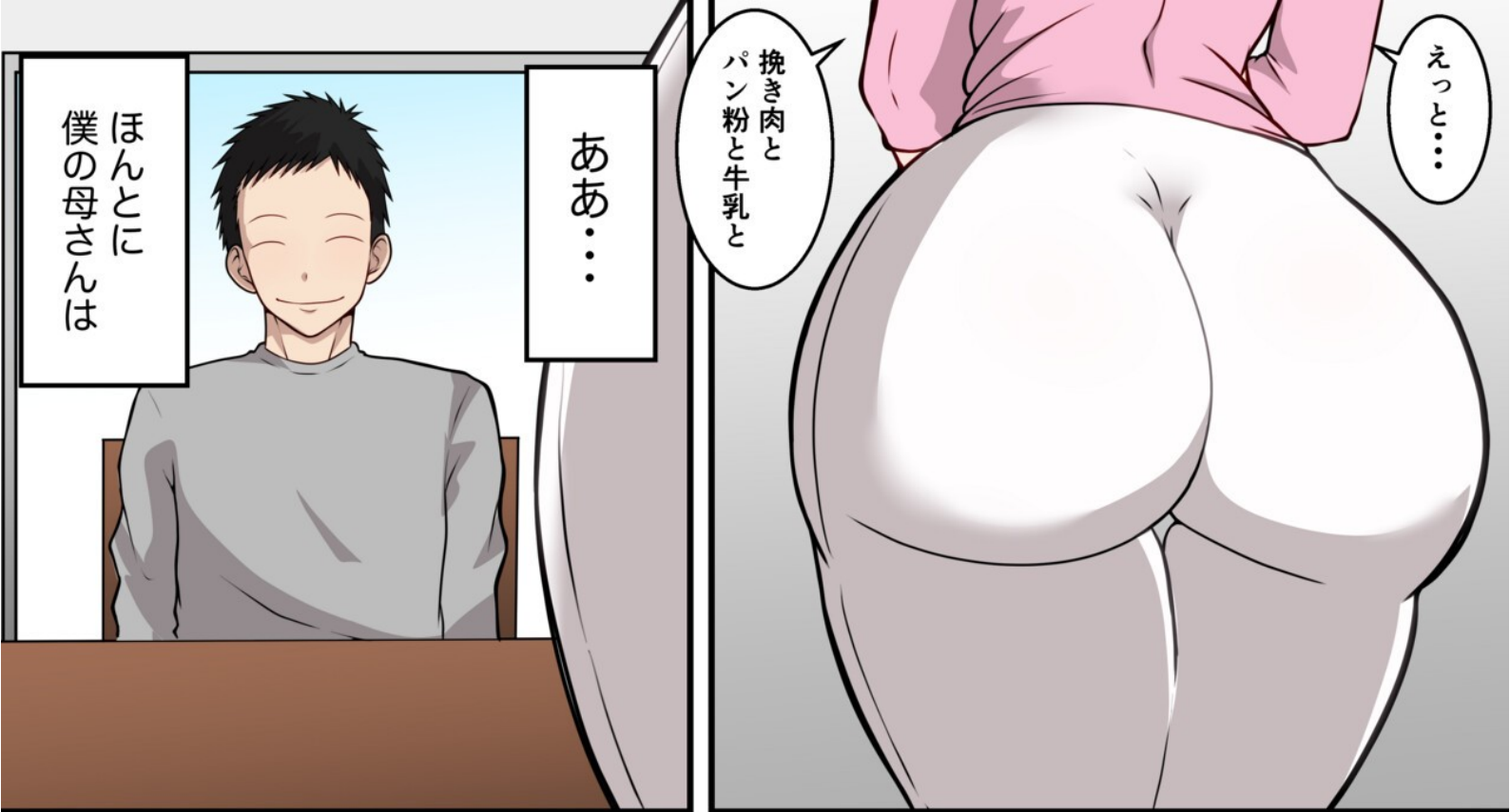
就職に失敗して
自宅警備員を
している

ハンバーグね

今から作るから
待ってて

だがそんな僕を
母さんは
一切責めずに

優しく見守って
くれている



ああ...

ほんとに
僕の母さんは

挽き肉と
パン粉と牛乳と

えっと...



あまりにも

ヒロもいる!!!

くわっ



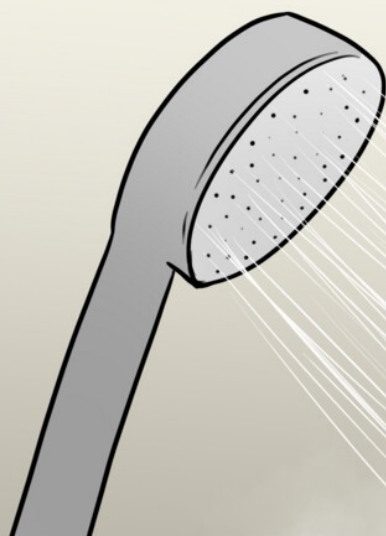
限界だ!!!

僕のモノは
もう



なんだ
あの胸!!!

なんだ
あの尻!!!



シャアアア

颯くん…
就職失敗したこと
まだ引きずってる
のかしら…

シャアアアアア

母親の私をもっとしっかり
サポートしてあげなきゃ
だめよね

シャアアアアア



母さんっ

シャアアア

ショッ

ショッ

母さんっ



母さんっ

か……っ



母さんっ
母さんっ

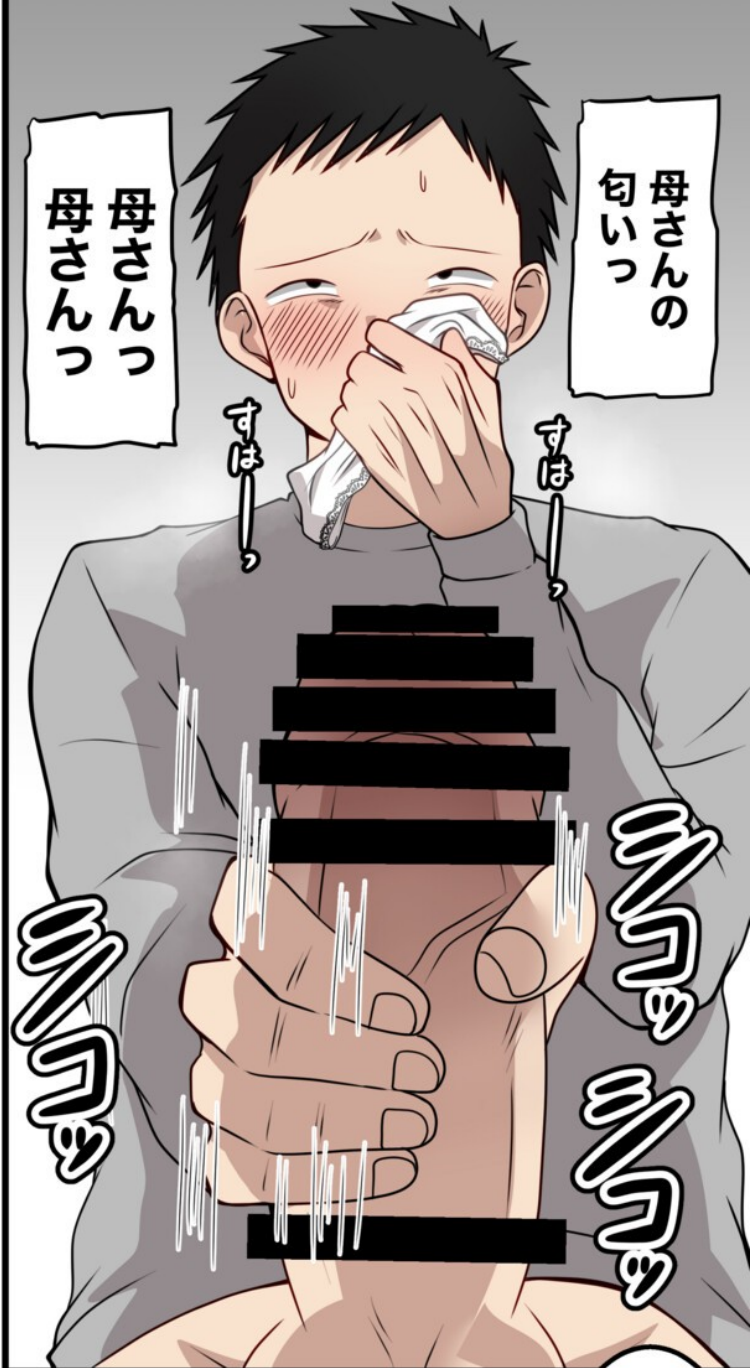
母さんの
匂いっ

すはーっ

すはーっ

ククッ
ククッ
ククッ

ククッ
ククッ
ククッ



颯くん……

何してるの？



決して下心とかじゃないんだ……ッ

純粹に母さんの匂いを……

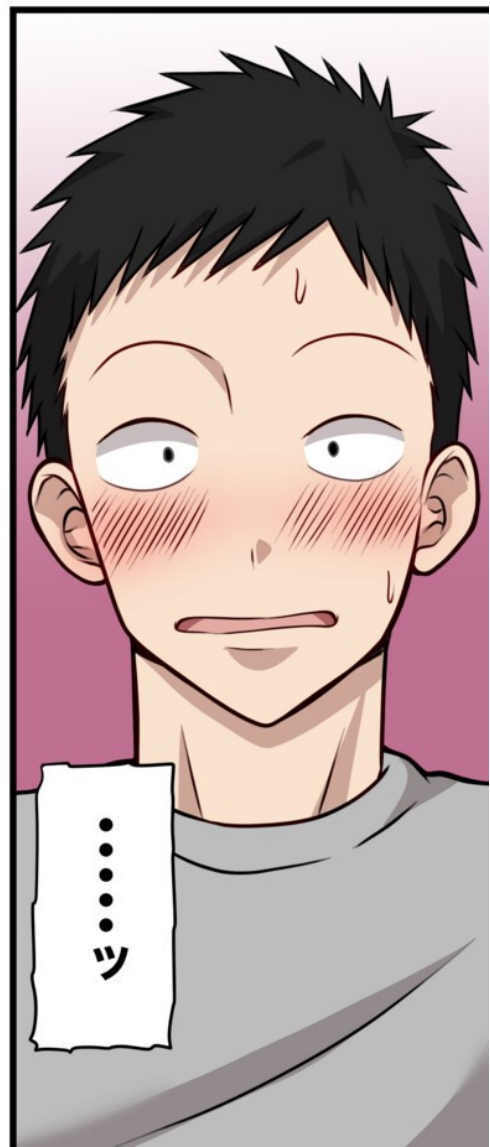
颯くん……

その……

こ……これは……
違うんだ……ッ
つい好奇心で……ッ

びゅん

びゅん

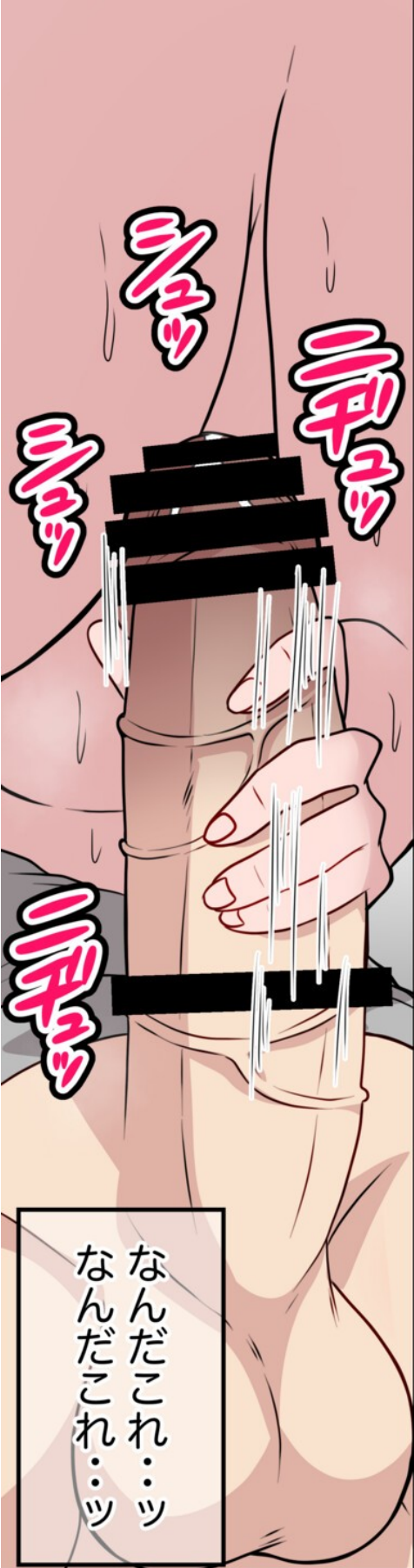


颯くんが元気に
なるためなら

お母さん……
どんな事でもして
頑張るわ……

ビキッ ビキッ

寝室に行きましょ
颯くん……



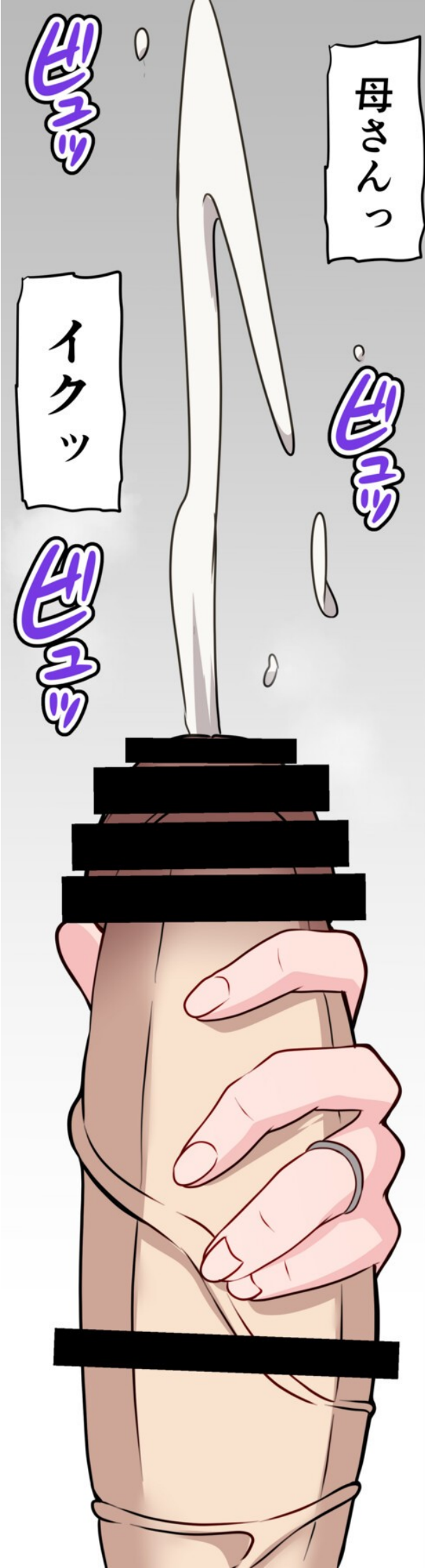
母さんの乳首
舐めながら

手コキして
もらえるなんて

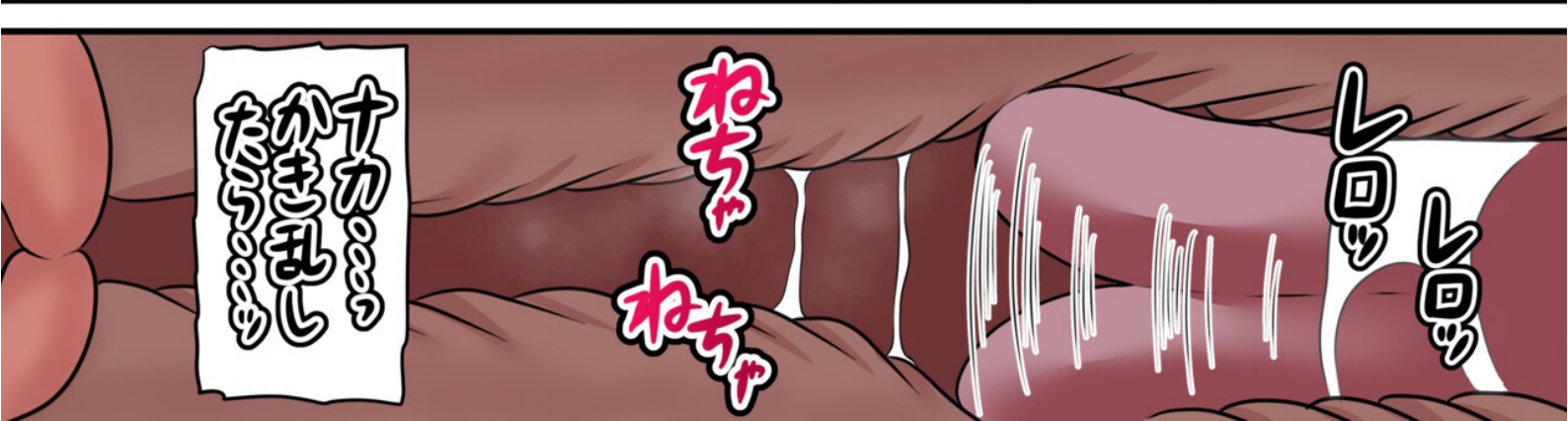
颯くんっ

あっ
そこっ

なんだこれ…ッ
なんだこれ…ッ









颯くん...



おん...

ぬぽあ...

ねとあ...

母さん……

ズウ
ズウ
ズウ
ズウ
ズウ

僕もう……
ガマンできないよ

颯くん……

それだけは……
ちよっと待って？
ね？

Boo

ハッ



んんんん

んんんん

んんんん

んん

んん

んんんん

んんんん

んんんん

うあっ

すごいっ





お母さん

お母さん

お母さん

お母さん

お母さん

母さんっ

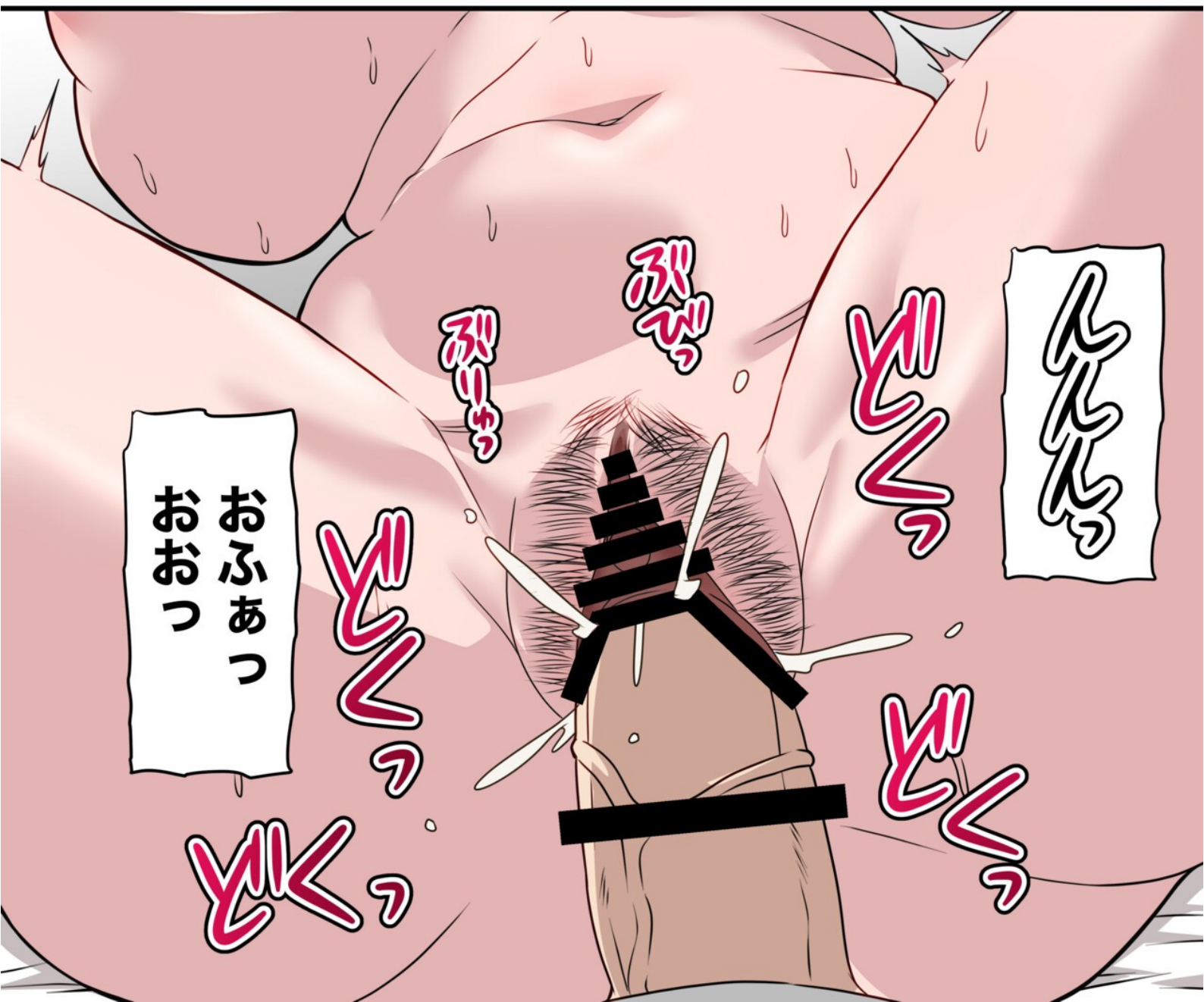
母さんっ

ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ

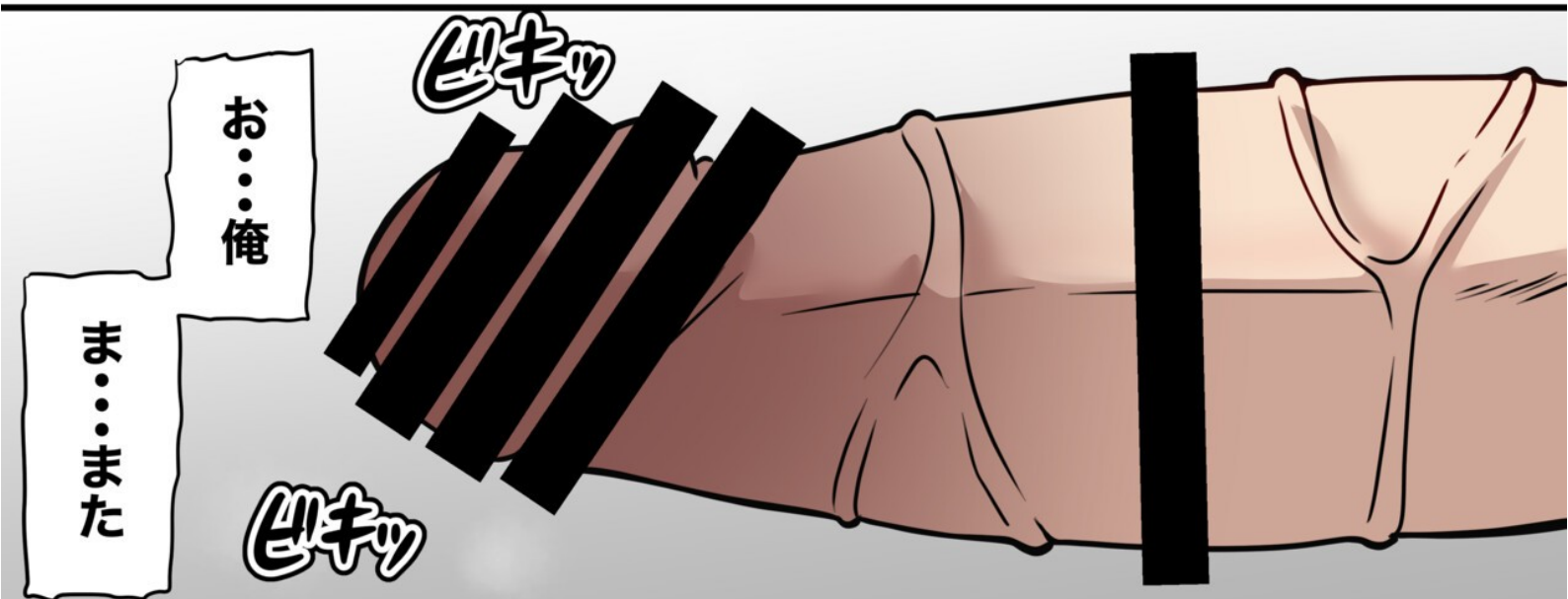
ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ

ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ

ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ









ゴクゴク



今度は後ろから
挿れてみて♡

いいのよ
颯くん…

ヌク…



アッ

ウウ

黒い帯状の模様

ウウ

あ



んんん

深奥

んんん

んんん

ズチ

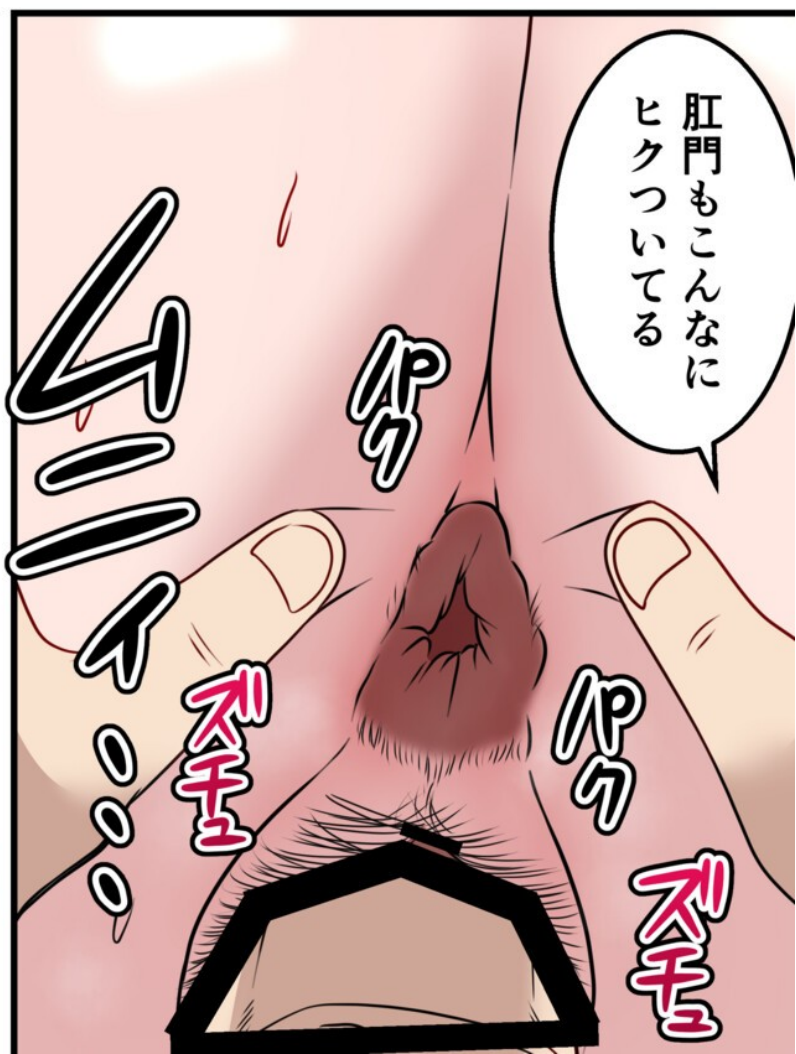
ズチ

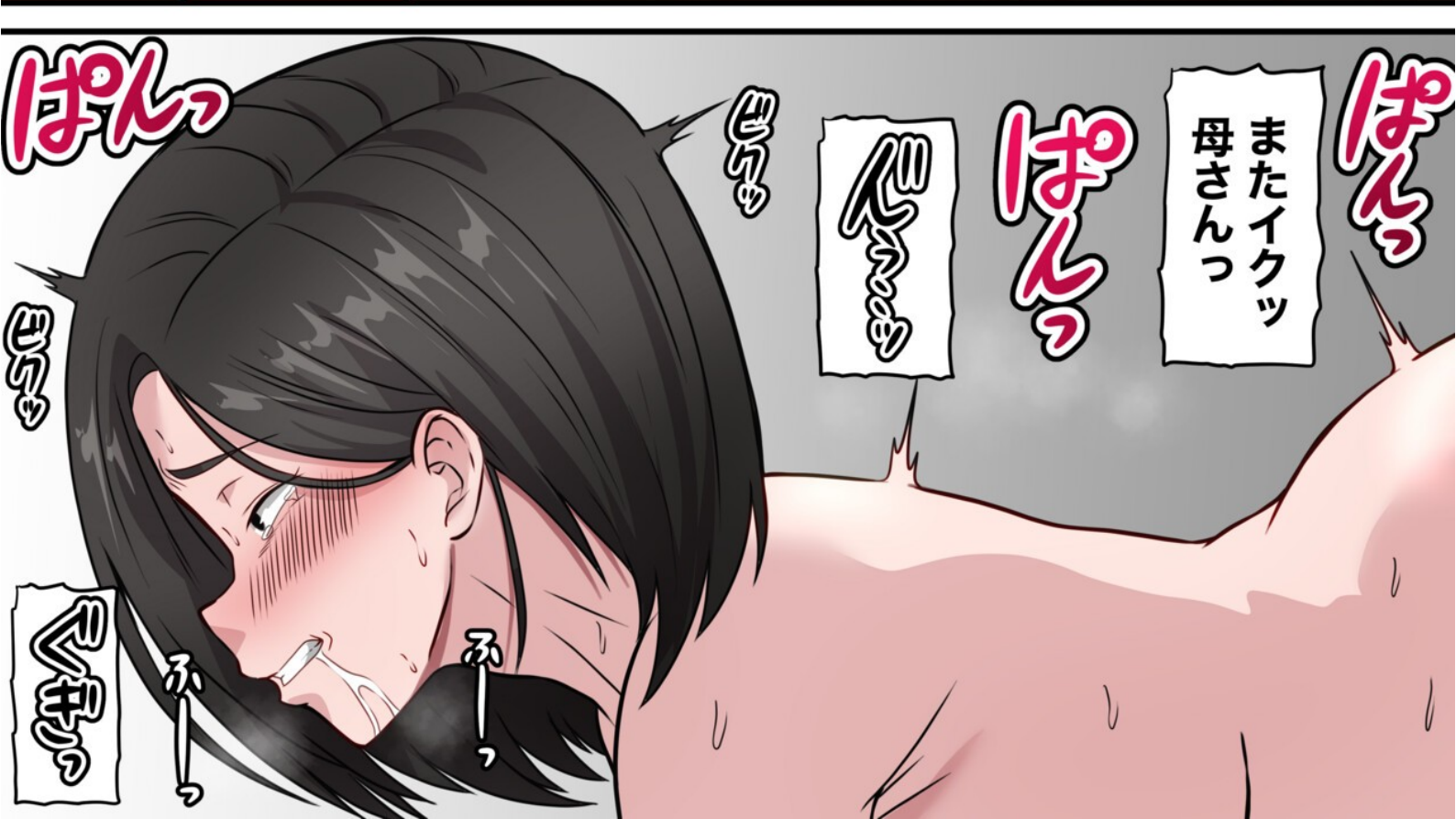
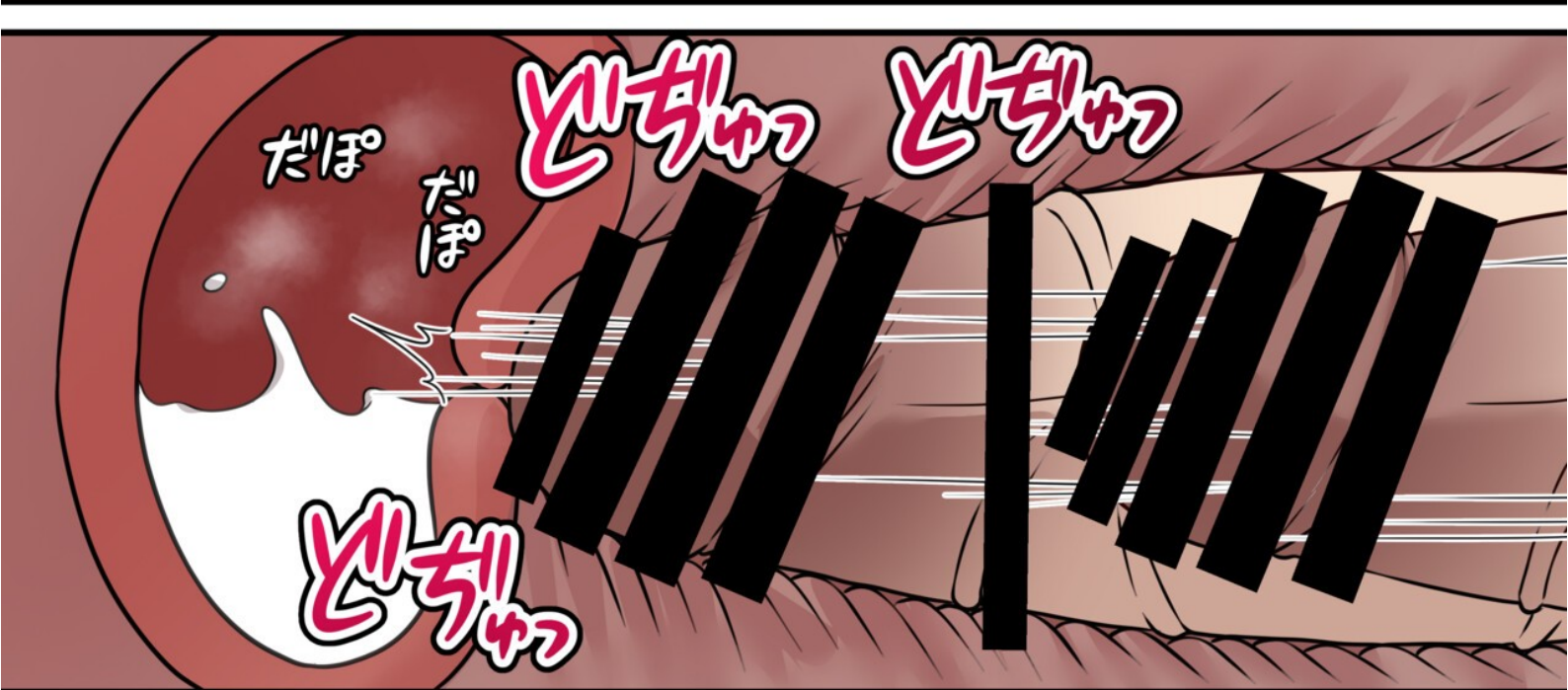
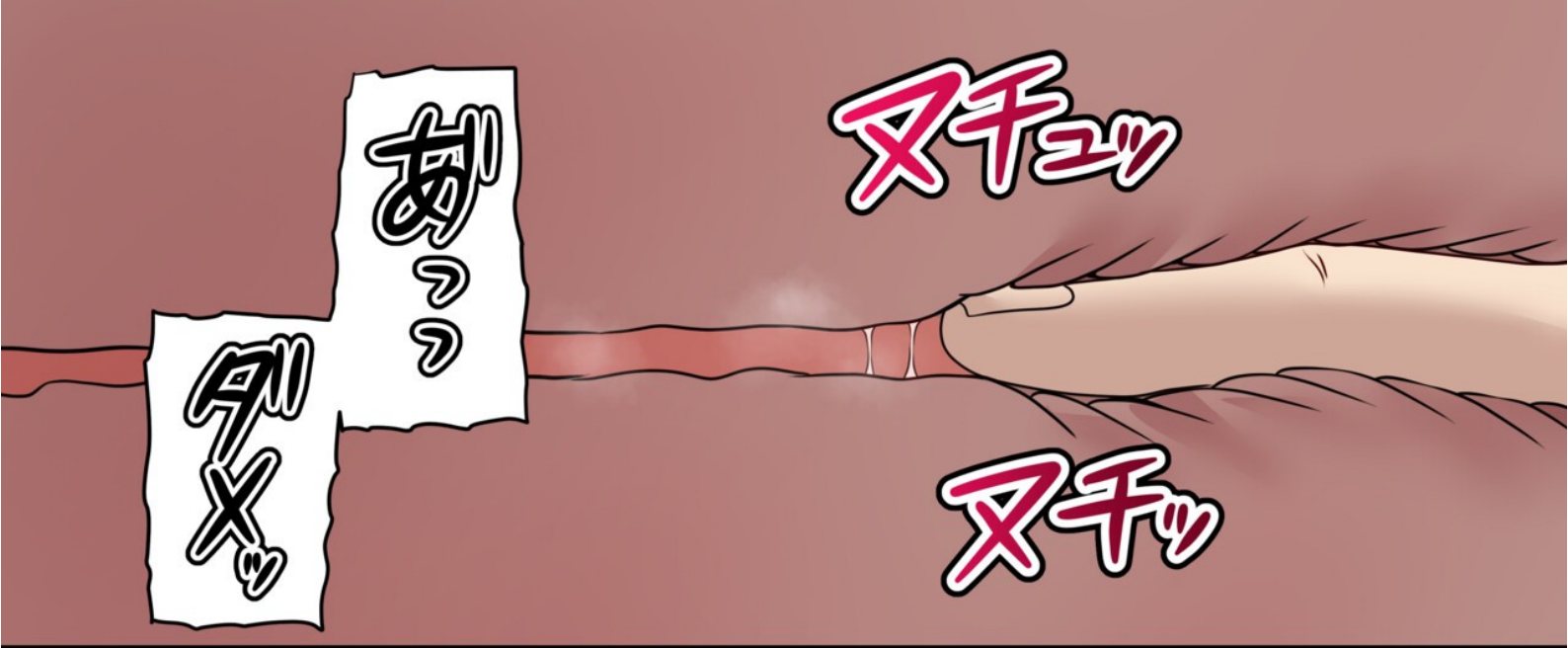
ぱん

ぱん

ぱん

ぱん







く
ふ

ふ

ふ

ふ

ふ

ふ

ふ

母さん
射精るっ

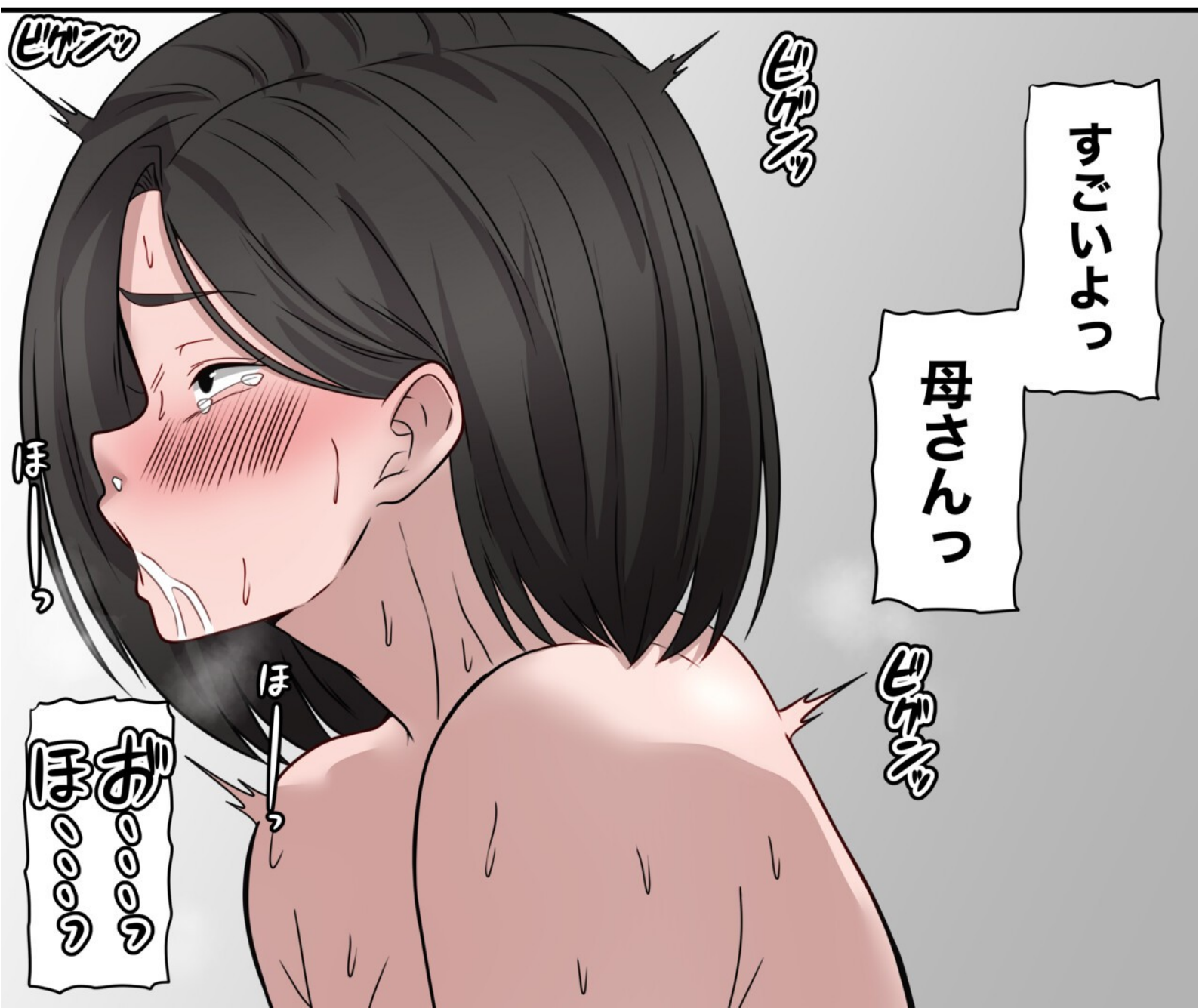
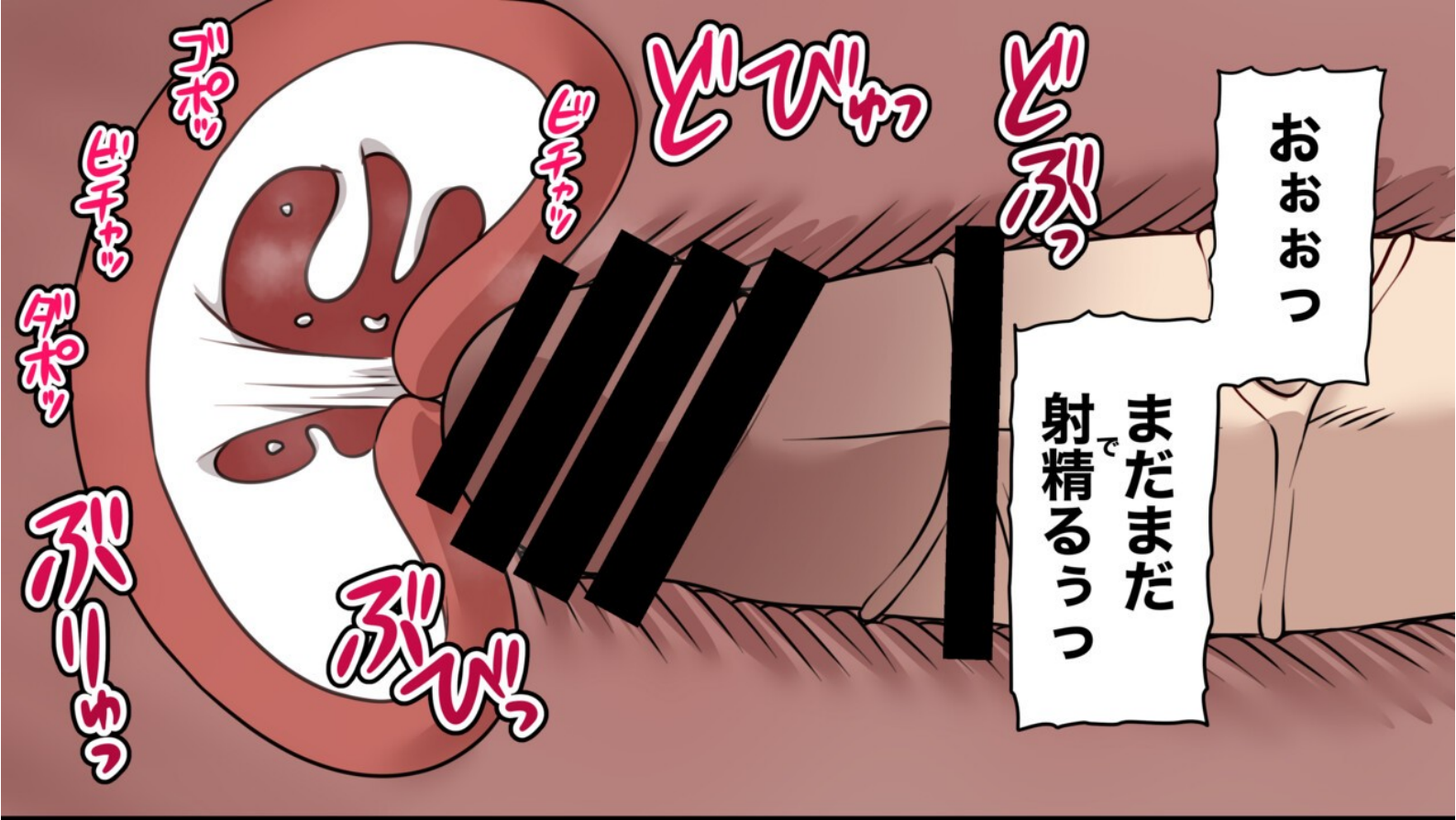
ふ

ふ

ふ

ふ

ふ







颯くん…

この事は
お父さんには
内緒よ……？

はぁ…

はぁ…

うん…

う…

ズクッ

ズクッ
ズクッ





おあう

はーん

風くん
アハハハ

はーん

はーん

母さんっ

それから
僕と母さんは
セックスしまくった

アハハハハ

パ
チ
ン

パ
チ
ン

パ
チ
ン

母さんっ

何度も何度も





二週間後

じゃあ母さん

今日も面接
行ってくるよ





頑張ってね
颯くん

ちゅ

今日はお父さん
遅いから

帰ったら
またいつもの
やりましょ♡



あとがき

皆様いつもお世話になっております。
ダンパチーノです。

この度は本作をご購入いただき
誠にありがとうございます。

今回は母と息子のイチャラブセックス
を描いてみました。

お楽しみいただけましたでしょうか？

最近はずっとゲームをしなくなって
しまって、どうやらマイブームが
定期的に切り替わる性格のようです。
(気づくのが遅すぎる)

次回作は熟女ものを考えております。

また続報はpixivやXにてお知らせさせて
いただきます。

今後もダンパチーノを何卒よろしく
お願い致します。

ダンパチーノ

颯くん

何今

？

僕の母さんだ

高嶺

専業主婦